

☆ **福祉遊業 知** <sup>しんぶん</sup> **マルワク** **福** **田**  
 No1

2011年4月5日(火)発行先:宮城県、仙台市宮城野区田子字富里223

宮城野の星のマルワク(福) TEL: 022-388-8777 FAX: 022-388-8778

3月29日(木)まるふく支援者会議を受け、昨日、第2回支援者会議を開きました。そこでは、30分間の議論がかわされ、とにかく、まるふくを伝えようという結論になり発行することになりました。二見、感想も含め連絡を下さい。

**まるふくができた記**

mahufuku@miya.kou-fuku.  
 発行責任者: 相馬由里(千葉) or.jp

学校や公民館につくられた遊業住所での生活にも限度があります。また多額の関係で遊業住所の閉鎖も増えつつあります。そんな中で、介護を必要とする方たちを中心に集まりまた全国から仙台にやってきた介護の専門スタッフがそこにそろったヒナンがまるふくです。

**まるふくにヒナンに来る人は?**

4月4日(月)  
 三たび機が来た

遊業住所に集まる方たちは家に帰れない方たちです。まるふくも同様で、自宅等に帰れない方たちなんです。具体的には... ①津波で自宅が2Fまできて全没してしまった方、②地震で自宅が片むき危険な状態な方 ③津波で自宅1Fが全て流され2Fは何とかまぬが木たが住める状態ではない状態など、さまざま理由でこちらまるふくに来ています。

水がこぼれて、半分石けんは溶けてしまいました。

**まるふくに来た支援者エリ**

このまるふくが出来て2週間がたったきのう、大阪から来ました。藤です。地震の被害が大きかった割りに建物には、わずかな傷がなくヒナンされてる方に温かい介護が提供されてました。ただ、ケアハウスの食堂を借り簡易ベットを並べ男性も女性も同じ空間に休まれる、まさにそんな遊業住所がまるふくでした。介護のやり方、関わり方、これからのことが熱く語り合われていて、どんな状態でもその方について出来ることをしようとする姿勢をまのあたりにしました。

**これから来る支援者へ**

全国からのカップメンが種類多し

被災にあわれ、気持ち不安定な中での出会い、別れ...。気持ちの動揺は更なる悲しみを生み出す。同じ夢での継続的な支援を望みます。よろしくおねがいします。

